

はじめに

本県は、南北約600キロメートルに及ぶ広大な地域に、国内で初めて国立公園に指定された霧島、世界自然遺産の屋久島、奄美大島・徳之島など亜熱帯に至る島々、ラムサール条約湿地に登録されている藺牟田池、屋久島永田浜及び出水ツルの越冬地など、多様で豊かな自然を有しております。

このふるさと鹿児島のかげがえのない素晴らしい自然環境を守り育て、将来の世代にしっかりと継承していくことは、現代に生きる私たちの使命であると考えております。

このため、県におきましては、かごしま未来創造ビジョン（令和4年3月改定）において、「脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生」を施策展開の基本方向の1つに掲げ、県環境基本計画（令和3年3月改定）に定めた4つの基本目標（①自然と共生する地域社会づくり、②地球環境を守る脱炭素社会づくり、③再生可能エネルギーを活用した地域づくり、④環境負荷が低減される循環型社会の形成）に向けて、各般の施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

まず、①自然と共生する地域社会づくりに向けましては、本県を代表する優れた自然の風景地を県立自然公園に指定することなどを通して、自然環境の保護及び適正利用を推進しており、令和3年には、薩南海岸県立自然公園を、翌4年には、みしま県立自然公園をそれぞれ県立自然公園に指定したところです。

次に、②地球環境を守る脱炭素社会づくりに向けましては、学識経験者や産業経済など関係団体等で構成する2050年鹿児島ゼロカーボン推進委員会（令和3年7月設置）の様々な御意見を踏まえ、令和4年3月に取りまとめた県地球温暖化対策実行計画（平成30年3月改定）の見直しの方向性に基づき、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとするカーボンニュートラルの実現に取り組んでおります。

また、③再生可能エネルギーを活用した地域づくりに向けましては、地域との共生や環境に配慮しつつ本県の多様で豊かな自然を活用することなどを基本として、再生可能エネルギーの導入を促進しております。

④環境負荷が低減される循環型社会の形成に向けましては、県民及び事業者の皆様のマイバッグの利用や食品の食べきり・使いきり、リサイクル製品の使用等の促進に努めながら、食品ロスの削減や廃棄物の排出抑制・減量化に取り組んでいるところです。

今後とも、「県民の皆様と一緒に鹿児島の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」自然環境の保全及び適正利用、脱炭素社会の形成等に向けた取組を積極的に推進してまいります。

この白書は、令和3年度における本県の環境の現状や環境関係施策の概要及び成果を取りまとめたものであります。県民及び事業者の皆様の環境に対する関心と理解が一層深まり、環境保全の更なる取組の参考となれば幸甚です。

鹿児島県知事 塩田 康一